

通所利用者様の作品『菖蒲とこいのぼり』



藤枝市中ノ合26-1
医療法人社団 ^{やしまかい}八洲会
誠和藤枝病院
(054)638-3111(代)

診療時間
月～金
午前 9:00～午後 5:00
土曜日
午前 9:00～正午12:00

終末期医療(2) 妻の死

誠和藤枝病院

医師 八木 誠

今年 は亡き妻の十三回忌を迎える。

それは暑い盛りの日だった。妻は数日前から頭痛を訴え、嘔吐があつて、脳外科の専門病院に連れて行つた。頭のCTを二目見た外来医師の顔がくもつた。

「まずいですねー、低吸収域が多発していて、まさに浮腫を伴い脳圧がかなり亢進しています」と。即座に、脳圧を下げる点滴が開始され、MRIの撮影が行われた。結果は百個以上の転移性脳腫瘍が認められ、緊急入院となった。受診当日にして、終末期患者となつてしまった。

その後の胸のレントゲン写真と胸部CTから、原発は、胸水を伴う進行性がんと推測された。余命は四〜五ヶ月と。化学療法はしないことで合意した。入院三日目に、麻痺や構音障害と関連の深

い左脳を中心に、三十二箇所ガンマナイフの照射が行なわれた。告知は全くしなかった。意識がボーとした中で、本人に真実を告げる意味はなかつたし、妻の生活の質は、私が替わりに考えてやることができると信じたから。

徐々に食も進み、言葉のもつれもよくなり、一カ月後に自宅退院となった。主婦として最低限の仕事もこなしてくれた。一番調子のよさそうな時期をみはからつて、長男と二人で北海道旅行にも出かけた。ふらつきながらも自分の足で歩き、よく食べ、よく喋つた。家族としての最期の思い出作りの旅であつた。

時には自分の病状に対する不安を、訴えることもあつたが、「徐々によくなるよ」と言いきかせた。胸の重みと発熱をきたしたときには、自宅で抗生剤の点滴をして乗り切つた。

やがて足腰がおぼつかなくなり、頭痛も強くなつて再入院となった。肺がんの末期ではあるが、無理を言つて脳外科の病棟に入れてもらった。ガンナイフの照射を行なつた患者は、最期は人工呼吸器をつけて、脳死に至るまで治療する、というのが常のようだが、意識があり食事ができるという、本人の尊厳が保てなくなつたら、延命治療はしないで欲しいと、担当医師にお願いした。

脳圧を下げる点滴で一度はよくなつたかにみえたが、頭痛が制御できなくなり、麻薬の注射を使つてもらうようになった。一週間前から私は年休をとつて妻に付きそつた。三日前から食事が取れなくなり、まさに眠つたまま息を引きとつた。最初の入院からちょうど四ヶ月のことであつた。

新人紹介

『看護の道に進んで』

病棟看護職員

藤田 巳聡

私が看護の道に進んで十年目になります。

高校で准看護師の資格を得し、そのまま就職してがむしやらに頑張ってきましたが、まだまだ知識も経験も足りていないのを日々の仕事を通じて痛感しています。

家族が私の幼い頃から透析を受けていて病院に付いて行くことが多く、そこで働いている職員を見て憧れを抱き、人の役に立つ・人を支える職業に就くことが夢になりました。

高校を卒業してから看護の道へ踏み出しましたが、決して平坦な道ではありませんでした。始めて就職した病棟ではすぐに腰を痛めてしまい入院してしまいました。満足に働けないままに退院後は通所リハビリで働く事となりました。

初めは人付き合いが苦手です。つ込み思案な自分に積極的に人に係られるのか、右も左も解らないまま出来るのかと不安だらけでしたが職員、利用者様に優しく接してもらえて、人と接する喜びを知る事が出来ました。

その後オペ室や老人保健施設、透析と経験しましたが初めての職場で学んだことがどの職場でも活かされました。患者様やご家族様や職員と、時に冗談を言ったり支え合ったりしながらこれからも頑張っていきたいと思っています。

『自己紹介』

病棟介護職員

楠 晃仁



私が誠和藤枝病院に勤めて、早いもので九ヶ月が経ちました。

私が介護の職に就こうとしたきっかけは、前の仕事をやめて

職安に通ったり、知り合いに話を聞いたりしていた時期に、私に通っていた柔道の道場で介護の仕事をしていた教え子と教え子の親から、『介護の仕事をして見たら』と勧められて、興味を持ちやってみようと思ったことです。

実際に入職をして経験のない私がどれだけやれるか毎日が不安と緊張の連続です。今まで続けてこれたのもミスをした時は厳しく指導して頂き、分からないときは何回も優しく教えてくれる先輩たちがいてくれたからだと思います。それと患者様からの『ありがとう』の言葉や笑顔が私の力になっていると感じます。

今の目標は、先輩達に一人前になったと言われるように一生懸命全力で仕事に取り組むことと、少しでも患者様達が笑顔で過ごせるように努力していくことです。

まだ、未熟ではありますが変わらぬ厳しくも優しいご指導をして頂けたら嬉しく思います。今後とも宜しくお願いします。

お知らせ

『ソフト食』を導入しました

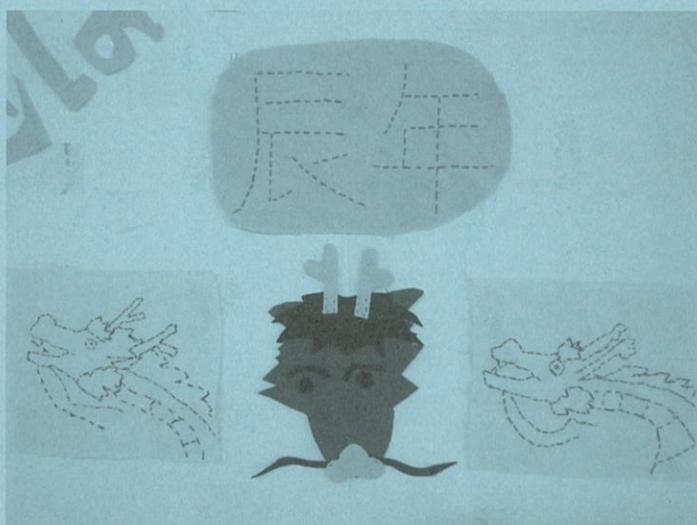
当院では今年度よりソフト食を導入し通所利用者様、入院患者様に提供しております。

ソフト食は、従来のきざみ食やミキサー食に比べ、見た目が良く安全性の高い食形態です。

ソフト食の特徴

- 普通食と同じ形態を保ち、食欲を出してもらえます
- 形があってもやわらかく、舌でつぶすことが出来ます
- まとまりがあり、飲み込む際もムセを生じにくいです

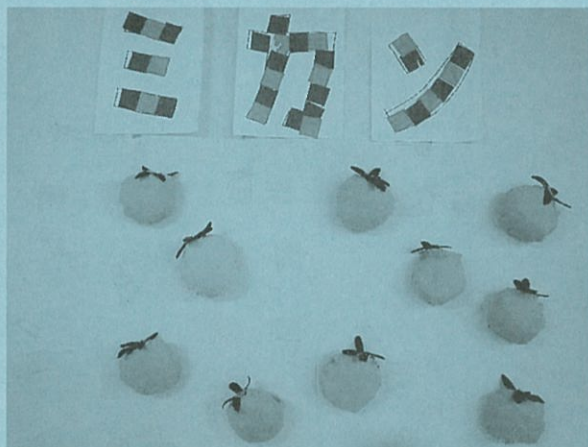




OT ギャラリー

作業療法中に
患者様が作った作品を
紹介させていただきます。

『今年の干支だよ☆』



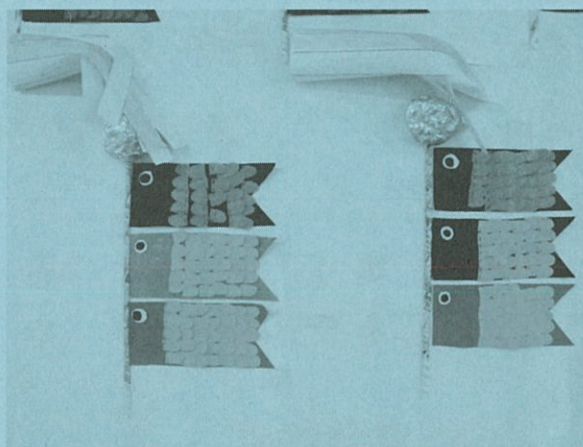
『美味しそうなミカンになったよ』



『誠和に福来る』



『満開の桜、きれいだね』



『楽しそうに泳いでる』

ソーシャルワーカーの お仕事とは

誠和藤枝病院
ソーシャルワーカー
山本和正

人が社会の中で生きていく為には「衣、食、住」をはじめとした、様々なことが必要になります。それが、病気や障害などのために、上手に出来なくなることがあります。また、複雑化する現代社会の中で、悩んだり不安になったりすることもあります。

このような病気や障害などに伴う、経済、社会心理的な心配事、不安などの問題について相談を受け、問題解決のお手伝いをするのが、ソーシャルワーカーの役割です。

ソーシャルワーカーの倫理綱領では「ソーシャルワーカーは日本国憲法にのっとり、個人の自己表現・家族・集団・地域社会の発展を目指すものである。また、社会福祉の発展を阻害する社会条件や困難を解決するため、その知識や技術を駆使する責務がある」とされています。ソーシャルワーカーは、そのような個人や集団、家族、地域社会の問題や困難を専門の知識や技術、そして倫理観をもって解決しようとする専門職です。

ソーシャルワーカーは病院や福祉施設、市役所の福祉課、保健所などさまざまな場面で活躍しています。その中で病院のソーシャルワーカーを医療ソーシャルワーカーといいます(当院の相談員)。

ソーシャルワーカーにおいて具体的な相談として

- ・介護保険、身体障害者手帳ってなに?
- ・医療費の支払いが難しい。
- ・施設入所を考えているがどうしたらいいか?
- ・要介護者をご自宅で介護するのが大変 等



ご相談がありましたら、いつでもご連絡ください。

職員募集

- ◎ 正・准看護師
- ◎ 介護職員

詳しいお問い合わせは(054)638-3111 担当 事務長まで

新緑の季節から、雨季に近づいてきました。これから気温も上がってきますが、引き続き体調管理には気をつけていきましょう。

今回も院内報にご協力いただき有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。



編集後記